

Joanna Pascale & Jim Riddle

[プロフィール]

Joanna Pascale ジョアンナ・パスカル：Vo



最新作「Wildflower」は20年来旧知の仲である Orrin Evans をプロデューサーに迎え、豪華なスペシャルゲスト (Christian McBride, Kurt Rosenwinkel, Gregoire Maret, Bilal, Cyrus Chestnut, 他) と共に、太陽の下で美しく光り輝く Wildflower として、彼女の魅力が十分に咲き乱れている。

タイトルの「Wildflower」も、彼女が歌うあまり知られていないような忘れられかけていたスタンダード・ナンバーのことか、それともフィラデルフィアというコンクリートジャングルの中で育ってきた彼女自身のことだろうか、彼女の魅力を伝えるのに理想的なタイトルだ。

Orrin Evans は彼女について「Joanna は妹のような存在だ。私たちは同じように音楽を感じることができる。だから、私たちが何をしても、成長したり何かが起こる空間が生まれるんだ。」と語っている。

Pascale もプロデューサーの Orrin について「私が何をしたいのかを正確に知っているし、私はそれを本当に信頼している。レコーディング中、今まで他のレコードでやってきたようにビジョンをコントロールすることが難しいときがあった。だけど、彼はそのとき私が考えていたよりもっと大きいビジョンを持っていて、それがアルバムを形にする助けになった。

私たちはお互いを本当に尊敬している。」と語っており、その信頼関係が窺える。

CAPA を卒業後、現在も教員を務めている Temple University に席を置き、また大学で製作、リリースした2枚のCDにおいてフィーチャーされている。(the Temple University Jazz Band の Thad Jones へのトリビュートアルバム「To Thad With Love」等) Warfield's Jazzy Christmas CD の中でも Orrin Evans' Liberation Blues でその歌声を披露している。

2004年に初リーダーアルバム「When Lights Are Low」を発表、次いで2008年に「Through My Eyes」、2010年にピアニストの Anthony Wonsey とスタンダード・ナンバーをフォーカスしたデュオアルバム「play the Great American Songbook」を発表している。

Jim Riddle ジム・リドル：piano



...an innovative force in jazz, a pianist of the highest caliber, a creative composer and improviser, and one of those rare musicians who stretches the art form even as he honors the established traditions." AllAboutJazz

「ジャズにおける革新、ピアニストとしての高い器量、創造的なコンポーザー、インプロヴァイザーであり、そしてトラディショナルをアートへと昇華させる貴重な存在の一人」-AllAboutJazz 誌
ニューヨークを拠点に活動するジャズピアニスト、コンポーザー、アレンジャー。

ノースダコタの広い農場に囲まれて育ち、小さい頃からピアノとジャズに親しんでいた。

the University of Colorado を卒業、作曲 / アレンジの学士号を取得。

そして James Setapen 氏指揮の the Denver Symphony Orchestra にて Ocean Sojourn 賞を獲得。

主に、the Jim Riddle Trio and Quartet, the Dave Liebman Big Band, the Mingus Big Band, Ximo Tebar's IVAM Jazz Ensemble of Spain, the Tim Horner Quintet でインターナショナルに活躍している。

これまでに自身名義の5枚のアルバムをリリース。

6枚目のアルバム「Jim Riddle's Blue Corn Enchilada Dreams」では Terrell Stafford、Donald Edwards、John Benitez をフィーチャーしている。

2010年には the Mark Sherman/Tim Horner Quartet のメンバーとしてロシア、韓国、中国、フィリピンへアジアツアーを敢行。

Pat Martino と共演した際に、ジムの書き下ろした曲は世界中で賞賛を浴び、新たに3曲の追加レコーディングを行った。

(Interchange, Night Wings, The Maker)

コンポーザー / アレンジャーとして、the BMI New York Jazz Composers Orchestra, the Denver Symphony Orchestra 他、多くの団体に携わっている。

30年以上プライベートレッスンを続けている他、多くの大学でピアノのマスタークラスの指導を行っている。

彼はアメリカの音楽大学の有力者の一人である。ジムはプロとしてのキャリアをデンバーで始め、地元のミュージシャンや国際的なミュージシャンらと分け隔てなく活動している。

主な共演者は

Rand, Brecker, Marc Johnson, James Moody, Slide Hampton, Clark Terry, Mickey Roker, Billy Hart, Mark Murphy, Ravi Coltrane, the Woody Herman Orchestra, the Dizzy Gillespie Big Band, Bill Stewart... 他多数